

優秀賞

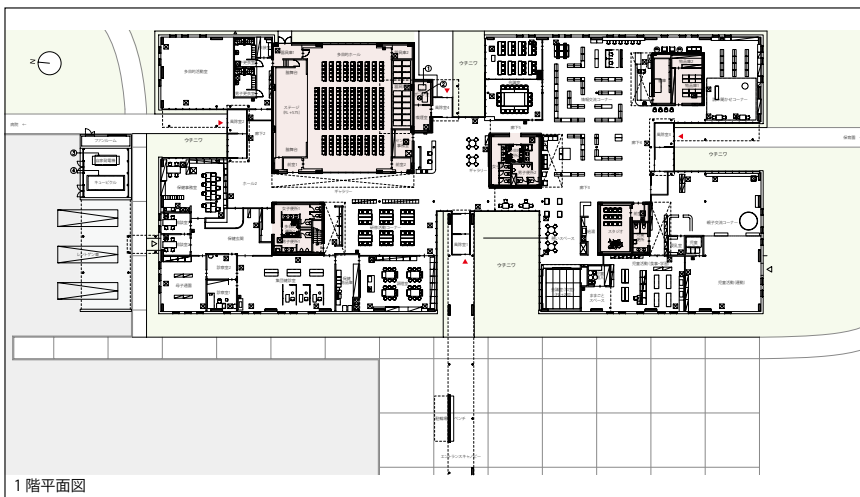
生活施設
(北海道地区)

豊富町定住支援センター



多目的ホール(左)と研修活動コーナー(右)

南側(保育園側)外観



1階平面図

所在地	北海道天塩郡豊富町東1条6丁目
敷地面積 (m ²)	9,886.78
建築面積 (m ²)	2,806.25
延床面積 (m ²)	2,630.51
構造/階数	W造、一部S、RC造/地上1
事業者	豊富町
設計者	(株)アトリエブシク
施工者	石塚・藤・佐々木特定建設工事JV
竣工年月	2013(平成25)年3月
総工事費	950百万円

交流とにぎわいを生む場所

豊富町定住支援センターは、「保健センター」「図書・情報」「子育て」「多世代交流」の4つの機能で構成されており、あらゆる方が気軽に利用して、自然に交流が生まれる施設となることを期待して建設されました。

開設から現在まで町内の各種イベントや講演会での利用だけでなく、毎日のように子供たちが屋内公園を利用し、図書利用者も大幅に増加するなどにぎわいを見せております。

これからも多世代間の交流とまちなかににぎわいを生む場所としてみなさんに利用していただけることを願います。

(大川徹・豊富町役場 町民課 町民課長)

近接する役場庁舎・保育園・病院の不足する機能を補完しながらネットワークをつくり、図書館・多目的ホール等の機能を加えることで、あらゆる世代の利用とふれあい、まち中の賑わい創出、ゆるいコミュニティといった、多様性を有する地域の中心的な集会・コミュニティ施設の計画である。

プランは、近接する施設群の中心に位置することから、矩形の四方角を欠き取って入り口を設け、大きな採光を集約したエネルギー効率の高い、北国にとって合理的な計画となっている。

矩形の高い天井は、地元のトドマツの集成材の水平梁を現しとし、内部空間をより広く確保するためにコンクリートの板柱が外壁側に組み込まれ、不足する水平力を広い平面内にコンクリートコアとして分散確保し、鉛直力は細い鉄骨柱とすることで、シンプルで開放的な空間を実現している。上記構成によるワンルーム上の空間に、コンクリートコアに付帯するスカイライトが光の空間だまりをつくり、矩形に分散された諸室を、仕切りのない緩やかなまち並みのような内部風景を実現し、長い冬の期間でも魅力ある空間となっている。

また、スカイライトで照らされる壁は、地元産の暖色系珪藻土で塗られ、外壁にも使用されるなど、地域の人々が愛着を持つ魅力あふれる複合施設を創出することを目指した姿勢は高く評価できる。